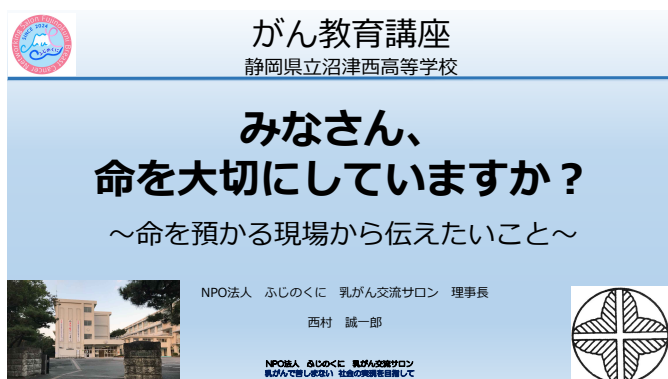


～ 理事長だより ～ Vol.11

沼津西高校にお邪魔しました。

11月18日昼下がり、大沢医院、大澤浩一郎副理事長のご配慮で、沼津西高校で、がんに関する講演をさせていただく機会をいただき、学校訪問をいたしました。同校は明治34年に開校し、創立120周年を超えた歴史と伝統ある学校で、元々は女子校だったようですが、平成15年より共学に変更になり、普通科に加え、高校ではあまり耳にしない芸術科を併設し、現在、約560名の生徒さんが、学業に励んでいるようです。

体育館に、今回の対象である1年生全生徒が集合しており、担当の保健担当の先生より、紹



介していただいたのち、私と、この企画に賛同を得た患者さん（なんと偶然に同校卒業生でした）とともに約1時間ほど講演を行いました。先に、私の方から、いのちの大切さ、がんという病気とはどういうものか、がん検診の重要性につき、生徒さんたちに語りかけました。検診に

関しては、まだ、生徒さんたちは、対象年齢ではありませんので、自分の大切なお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんに伝えて欲しいと伝えました。

その後、患者さんから、自分の乳がん体験談をお話ししていただきました。体験した人の生の声を聞く機会は滅多にないため、みなさん、真剣な眼差しで、聞き入っていました。こうした地道な語り部活動が非常に大切だと強く感じた瞬間でした。

この、未来ある若者たちが、成長し、より幸せに生きる術として、がん検診をうまく利用し、たとえ、がんになっ



たとしても、最小限の負担で治療を終え、苦勞の少ない人生を送れるよう願っています。

未来ある、若人たちに幸あれ！

NPO 法人 ふじのくに乳がん交流サロン

理事長

西村 誠一郎

